

日阪通信

第94期

2022.4.1—2023.3.31



TOP MESSAGE

新たな中期経営計画が始動
更なる事業拡大と
社会課題の解決を目指す

2023年6月 代表取締役社長

竹下好和

BUSINESS REPORT

株主の皆さまへ

この度、第94期事業年度が終了いたしましたので、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、地政学的な緊張によるエネルギー・原材料価格の高騰などから減速感が高まる状況となりました。緩やかな改善傾向が続く国内経済も資源高や円安を背景とする物価上昇などにより、先行き不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループの受注高は、熱交換器事業及びバルブ事業は好調に推移したものの、プロセスエンジニアリング事業において顧客の設備投資の見直しや延期などがあったことにより、34,621百万円(前年度比0.2%減)となりました。売上高は、豊富な受注残などから全

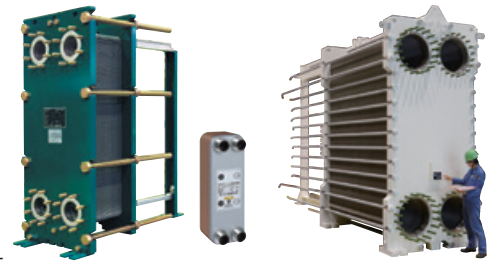
ての事業セグメントで増収となり、34,074百万円(同13.3%増)となりました。

利益面では、プロセスエンジニアリング事業の売上増加要因による利益率の改善などにより、営業利益は1,912百万円(同5.1%増)となり、経常利益は2,392百万円(同5.4%増)となりました。また、前年度に引き続き、特別利益に政策保有株式の縮減による投資有価証券売却益を計上したものの、その他特別損失や税金費用等が増加したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は2,040百万円(同0.9%減)となりました。

株主の皆さまには、何卒今後とも一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

39%

熱交換器事業

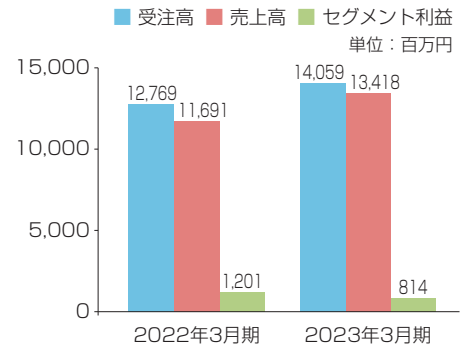


熱交換器事業は様々な産業で不可欠となる、流体の加熱・冷却を行うプレート式熱交換器などを製造・販売する事業です。

受注高は、14,059百万円（前年度比10.1%増）となりました。国内外でメンテナンス関連の需要が拡大したほか、半導体製造プロセスや空調、給湯器などに使用される中小型汎用品が好調に推移したことなどにより増加となりました。

売上高は、13,418百万円（同14.8%増）となりました。受注同様に中小型汎用品やメンテナンスが好調に推移したほか、前年度から受注が回復傾向にある船舶向けが増加したことなどにより増収となりました。

セグメント利益は、製品保証及び貸倒引当金の計上や新基幹システムの導入費用などから、814百万円（同32.2%減）となりました。



47%

プロセスエンジニアリング事業

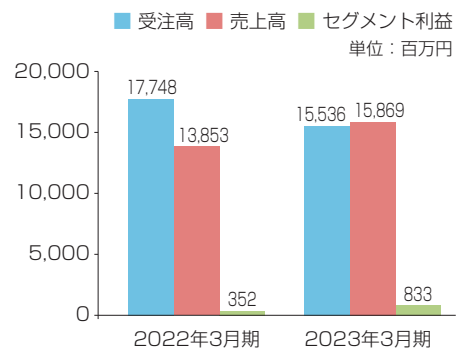


プロセスエンジニアリング事業は、レトルト食品などの調理殺菌装置、医薬品の滅菌装置や培養装置及び繊維製品の染色仕上機器などを製造・販売する事業です。

受注高は、15,536百万円（前年度比12.5%減）となりました。食品機器において、原材料や建築資材の高騰による顧客の設備投資の見直しや延期があったほか、前年度に医薬機器、染色仕上機器の大口案件を受注した反動により、減少となりました。

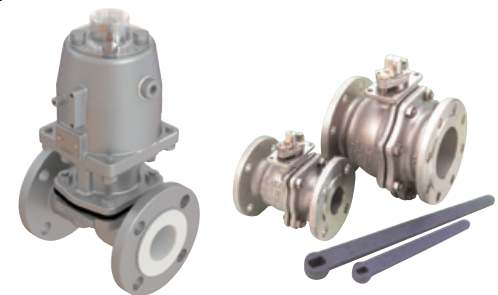
売上高は、15,869百万円（同14.5%増）となりました。海外を中心に染色仕上機器が増加したほか、医薬機器でも滅菌装置や培養関連の大口案件があったことなどにより増収となりました。

セグメント利益は、売上が増加したことなどにより、833百万円（同136.3%増）となりました。



14%

バルブ事業

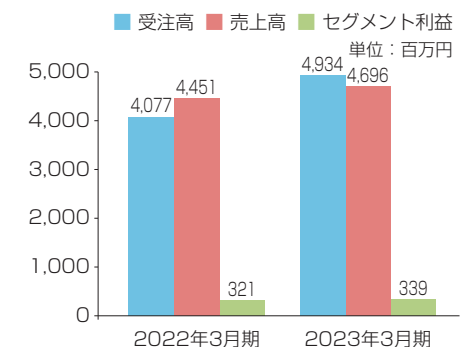


バルブ事業は、様々な流体の制御に使われるボールバルブなどを製造・販売する事業です。

受注高は、4,934百万円（前年度比21.0%増）となりました。海外の化学向けに大口案件を受注したほか、部材確保の動きの活発化などから引き合いが好調に推移したことなどにより増加となりました。

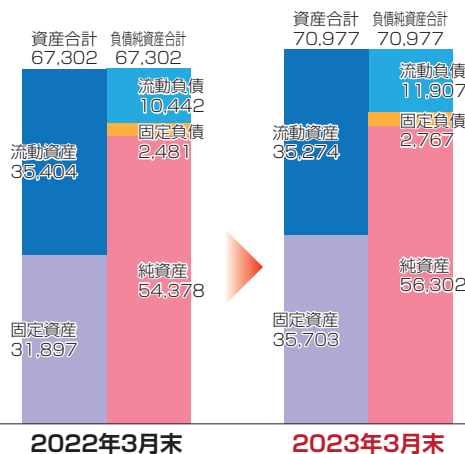
売上高は、4,696百万円（同5.5%増）となりました。海外大口案件を納入したほか、短納期品の受注が堅調に推移したことなどにより増収となりました。

セグメント利益は、売上が増加したことなどにより、339百万円（同5.6%増）となりました。



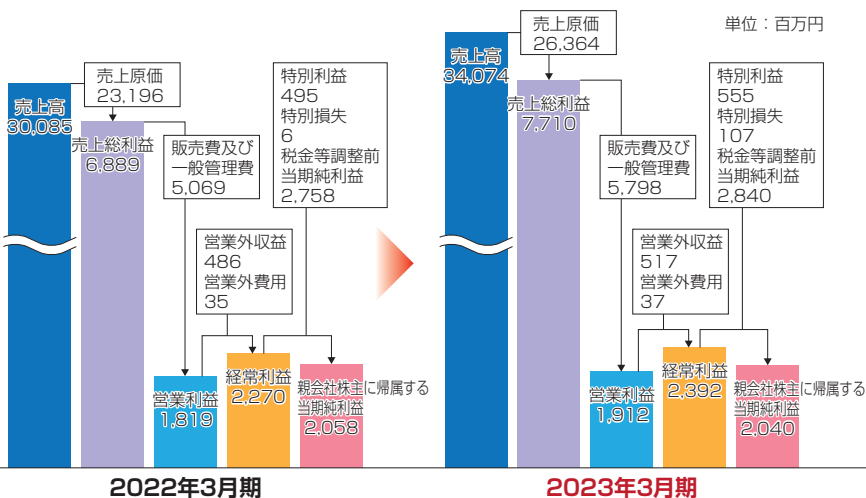
連結貸借対照表の概要

単位：百万円



連結損益計算書の概要

単位：百万円



トピックス

TOPICS

G-23

新たな中期経営計画「G-23」が始動

事業所の開設と再構築による事業拡大を目指すとともに、社会課題の解決に貢献

1. 前中期経営計画「G-20」(2020年度～2022年度)の振り返り

「G-20」はコロナ禍とともに始まりました。厳しい経営環境の中、大きく落ち込んだ業績の回復に努めるとともに、新事業所の開設準備やグループ会社の統合決定など事業拡大に向けて基盤整備を進めた3年間となりました。

2. 新中期経営計画「G-23」(2023年度～2025年度)の概要

①ビジョン・スローガン

ビジョン

一人ひとりの挑戦で、事業の発展と共に活力のある社員集団を実現する

スローガン

技術に想いをのせて
いけ サステナブル社会の実現に向けて

②大型投資(新事業所開設、既存事業所再構築)

建設を進めておりました「生駒事業所」が2023年10月に稼働します。プロセスエンジニアリング事業の新工場として、既存工場(鴻池事業所)からの移転・強化となります。

これに伴い鴻池事業所では熱交換器事業とバルブ事業の生産体制強化へ向けた再構築をスタートさせます。

③社会課題解決に向けた取り組み

【熱交換器事業】

CO₂回収や水素製造、バイオマス発電等向け熱ソリューションの提供により、カーボンニュートラルの実現に貢献します。

【プロセスエンジニアリング事業】

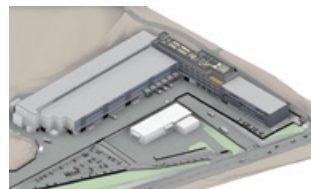
コア技術やエンジニアリング力の強化により、省エネや省人化等、環境負荷の軽減に取り組みます。

【バルブ事業】

社会課題解決への貢献に向け、特に3市場(二次電池、産業ガス、環境・水処理)を重点市場として取り組みます。

④株主還元

株主の皆様への利益配分を拡充するため連結純資産配当率(DOE)を1.5%以上から2.0%以上に引き上げました。これにより2024年3月期の配当は年間40円(予定)となります。



生駒事業所 (完成予想図)



鴻池事業所

単位：百万円

	G-17 最終年度 2020年3月期 (実績)	G-20 最終年度 2023年3月期 (実績)A	G-23 最終年度 2026年3月期 (目標)B	増減率 (B-A)/A
受注高	31,952	34,621	41,000	18.4%
売上高	32,511	34,074	40,000	17.4%
営業利益	2,274	1,912	3,600	88.3%
営業利益率	7.0%	5.6%	9.0%	+ 3.4pt
経常利益	2,573	2,392	3,800	58.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,080	2,040	2,600	27.5%
ROE	4.1%	3.7%	4.5%	+ 0.8pt

中期経営計画の詳細は当社WEBサイトに掲載しております「新中期経営計画「G-23」の概要に関するお知らせ」をご覧ください。

単位：百万円

区分	年度	第90期 (2019年3月期)	第91期 (2020年3月期)	第92期 (2021年3月期)	第93期 (2022年3月期)	第94期 (2023年3月期)
受注高	高	30,669	31,952	28,165	34,685	34,621
売上高	高	30,939	32,511	28,437	30,085	34,074
営業利益	益	2,040	2,274	1,409	1,819	1,912
経常利益	益	2,337	2,573	1,765	2,270	2,392
親会社株主に帰属する当期純利益		1,596	2,080	1,212	2,058	2,040
1株当たり当期純利益(円)		53.48	73.39	43.14	73.19	72.45
総資産	産	63,041	60,566	65,200	67,302	70,977
純資産	産	51,691	50,831	53,335	54,378	56,302
1株当たり純資産(円)		1,731.40	1,804.13	1,893.12	1,927.39	1,992.64
年間1株当たり配当額(円)		20	20	30	30	40
配当性向(%)		37.4	27.3	69.5	41.0	55.2
純資産配当率・D O E (%)		1.2	1.1	1.6	1.6	2.0

会社概要 (2023年3月31日現在)

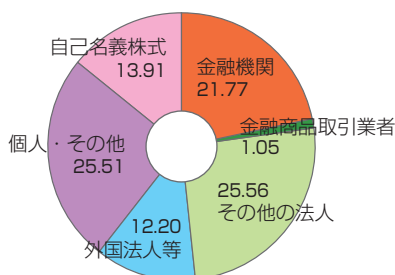
社名	株式会社日阪製作所 HISAKA WORKS, LTD.
創業	1942年5月
資本金	41億5千万円
従業員数	連結940名 単体670名
本社所在地	大阪市北区曽根崎二丁目12番7号
支店・工場	東京支店(東京都中央区) 名古屋支店(愛知県名古屋市) 九州支店(福岡県福岡市) 北九州支店(福岡県北九州市) 鴻池事業所(大阪府東大阪市) 青梅事業所(東京都青梅市)
主要な子会社	マイクロゼロ株式会社(東京都立川市) 旭工業株式会社(東京都青梅市) 小松川化工機株式会社(東京都千代田区) HISAKAWORKS S.E.A. SDN. BHD. (マレーシア) 日阪(中国)機械科技有限公司(中国)

CORPORATE PROFILE
役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	竹下好和
取締役 常務執行役員	太田光治
取締役 常務執行役員	宇佐美俊哉
取締役 常務執行役員	船越俊之
取締役 常務執行役員	足立昭仁
取締役(社外)	水元公二
取締役(社外)	角野佑子
取締役 常勤監査等委員	服部直人
取締役 監査等委員(社外)	仲井晃
取締役 監査等委員(社外)	藤田典之

株式状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	129,020,000株
発行済株式総数	32,732,800株
株主数	7,805名
所有者別持株比率(%)	



大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,306,300株	8.18%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,722,700株	6.11%
日鉄ステンレス株式会社	1,400,000株	4.96%
日本生命保険相互会社	960,770株	3.40%
株式会社三菱UFJ銀行	912,640株	3.23%
因幡電機産業株式会社	910,802株	3.23%
日阪製作所協力業者持株会	676,586株	2.40%
株式会社タクマ	642,000株	2.27%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	624,238株	2.21%
日阪製作所従業員持株会	575,316株	2.04%

(注)自己株式(4,551,198株)は除外しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
公告の方法	電子公告 公告掲載URL https://www.hisaka.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

SHAREHOLDERS MEMO

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。